

令和7年度 全国学力・学習状況調査 結果報告

羽曳野市立西浦東小学校

1. はじめに

本年度も小学校6年生と中学校3年生を対象に、全国学力・学習状況調査が行われました。本校では令和7年4月18日(木)に実施いたしました。この調査は義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る目的があります。また、各学校においても、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる目的があります。

以下にその結果をご報告し、改善に向けて今後の方向性を示すことができたらと思います。なお、今回お知らせする結果は、学力や学習状況の一部であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。

2. 学力調査の結果より

(令和7年度は国語・算数・理科において実施)

1. 国語から分かった本校の成果と課題 ○成果 ▲課題

- 書く内容の中心を明確にし、段落相互の関係に注意をして、構成を考えることができる
- 目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように、書き方を工夫することができる
- 目的に応じ、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見つけることができる
- ▲時間や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる
- ▲目的に応じて、文章と図表などを結び付け、必要な情報を見付けることができる

【今後の改善事項】

- ☆物語や文書を大まかにとらえる際に、グループで意見交流するなど、多角的に見る力を養う
- ☆どこが大事なところかを考えながら、複数の資料から読み取る力を養う

2. 算数から分かった本校の成果と課題 ○成果 ▲課題

- 棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができる
- 2つの辺と、それぞれを伸ばした図形の角の、大きさや関係について理解している
- はかりを示された場面では目盛りを正確に読むことができる
- ▲分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述できる
- ▲伴って変わる二つの数量に着目し、必要な数量を見だし、求め方を式や言葉を用いて記述できる

【今後の改善事項】

- ☆1つの図形を分割する方法を多角的にとらえ、様々な面積の求め方を記述する経験を増やす。
- ☆複数の変化する数量の関係をもとに予想を立て、自分の考えを記述する経験を増やす。

3. 理科から分かった本校の成果と課題 ○成果▲課題

○電磁石の強さは巻数によって変わることの知識が身に付いている

○乾電池の直列つなぎ、並列つなぎに関する知識が身に付いている

○氷がとけて海に流れていくことについて、学習したことと関連付けて理解している

▲土の粒の大きさによる水のしみ込み方について、結果を基に結論や理由を表現することができる

▲水の蒸発について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に理解している

【今後の改善事項】

☆条件の違う実験について予想を立て、予想した理由や結果などから意見交換する体験を増やす

☆気体や液体について学ぶ場面で、生活体験や似た事象と温度を関連付けて考察する体験を増やす

4. 学力向上にむけて

① 基礎学力の定着

基礎・基本の定着には、継続して取り組む事が大切です。西浦東小学校では、タブレット内のアプリ「ドリルパーク」を活用し、既習の計算問題や漢字学習を中心に繰り返し練習をしています。

また、2学期から「東タイム」（朝学）に取り組んでいます。基礎基本の徹底、地道な反復練習を目的として、1時間目が始まる前に「読書」「ドリルパーク」「プリント学習」を行っています。

② 読書活動の推進

「図書館司書による書籍の紹介、読み聞かせ」「家庭での読書週間」「読書ノートの実施」など、より読書に親しみ、楽しむ機会が増えるに工夫をしています。

③ 専科教員、教科交換による授業の実施

本校では「算数」「体育」「家庭」「図画工作」「外国語」など、専科教員による質の高い授業の実施に取り組んでいます。また、ペア学年（5年生と6年生など）の担任教員が教科交換（理科と社会）の授業を実施し、より専門性の高い授業の実施に取り組んでいます。

子どもたちは多くの教職員の授業を受けることで、たくさんの大人たちに見守られる安心感を持ち、学びに向かう意欲や心構えを醸成して学習に取り組んでいます。

3. 児童質問調査より

1. これからも維持していきたい項目

○先生は、子どもたちの良いところを認めてくれていると思っている。

○人が困っているときは、進んで助けている。

○困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。

○人の役に立つ人間になりたいと思っている。

○友達関係に満足している。

○地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動、遊び等に関わってもらっている。

☆上記の項目は、大阪府や全国と比べて割合が高い、いくつかの例です。ここでは、子どもたちが先生や地域の方に見守られ安心・安全な日常生活を送ることが出来ていることがうかがえます。

2. 今後の課題と考えられる項目

- ▲朝食を毎日食べていないと答えた児童が多い。
- ▲毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時間に起きていないと答えた児童が多い。
- ▲将来の夢や目標を持つことができていないと答えた児童が多い。

☆規則正しい生活リズムを大切にするよう指導してまいりますので、ご家庭でもご協力をお願いします。
また、キャリア教育をはじめ、各教科学習、各取り組みにおいて、将来の夢や目標につながる体験を増やして参ります。

その他、児童質問調査よりわかったこと

- ・ご家庭での本の保有数が多い結果となっています。ご家庭の協力で文字や物語に触れ、親しんでいることがうかがえます
- ・自分の考えを発表する機会では考えがうまく伝わるように、資料や文章、話の組立てなどを工夫していると答えた数値が高いです。このことから、発表活動で互いに高めあう活動が出来ていることがわかります。
- ・「平日の家庭学習の時間」「学校が休みの日の家庭学習の時間」などの項目ではやや低い数値になっています。「宿題」「意欲がわく問題」など課題の出し方への工夫をしてまいりたいと思います。

4. おわりに

☆早寝・早起き・朝ごはん ☆ゲームをするときや携帯電話の使用についての家庭内ルール
☆自学自習の環境（家庭学習をする環境） ☆家読（うちどく）
☆子どもへの問いかけや話し合いの時間の確保 ☆行事への積極的な参加

上記の生活習慣に関する内容については、学力向上にも関係があります。引き続き、ご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。

家庭で行う学力向上のための行動

ご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。

1. 早寝早起きの習慣が付くようにしてください
2. 朝ご飯は、毎日食べる習慣が付くようにしてください
3. 適度な運動で体力をつけ、健康を意識した生活習慣をお願いします
4. ゲームや携帯電話の使用について、家庭でルールを決めてください
5. スキンシップを大切に、子どもの目を見て話をしてあげてください
6. 本の読み聞かせの機会を増やしてあげてください